



個人型確定  
拠出年金

イデコ  
iDeCo

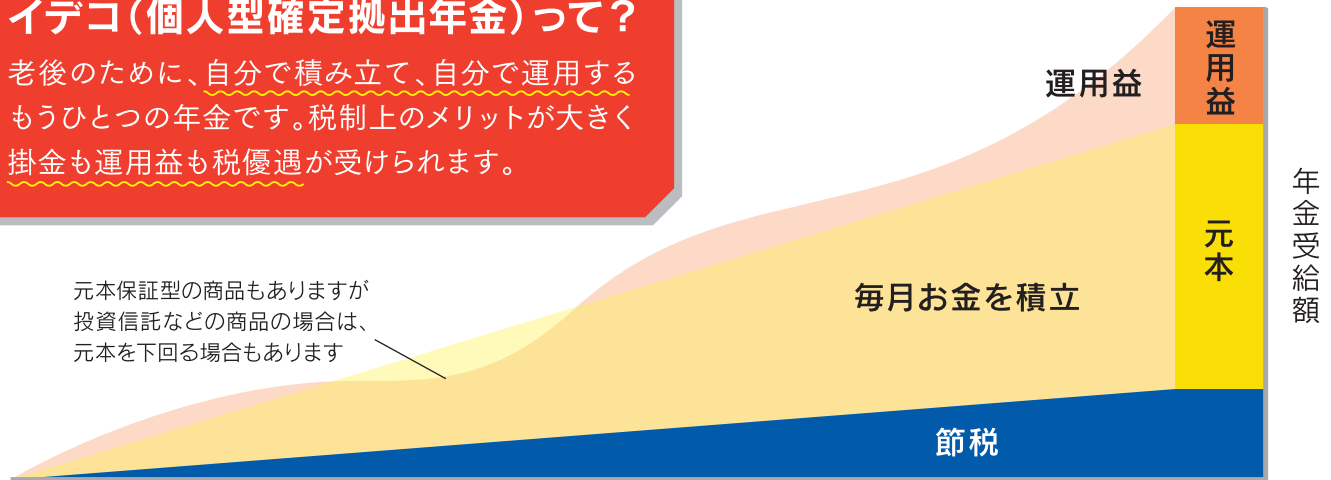
これからは自分で  
年金を増やす時代です

# “じぶん年金” はじめよう!

## イデコ(個人型確定拠出年金)って?

老後のために、自分で積み立て、自分で運用するもうひとつの年金です。税制上のメリットが大きく掛金も運用益も税優遇が受けられます。

元本保証型の商品もありますが投資信託などの商品の場合は、元本を下回る場合もあります



START!

積立期間

60歳

### ✓ 掛金を決める

掛金は月々5,000円から始められて1,000円単位で自由に設定できます

### ✓ 運用する

「元本保証型商品」など、自分のニーズにあわせて商品を選び、運用できます

### ✓ 受け取る

60歳以降、定年などにあわせて、自分で受け取り時期を決められます

Point 1

掛金は  
全額所得控除!



Point 2

運用益が  
非課税!



Point 3

受け取り時にも  
大きな控除!



【ご加入時の留意点】 ●資産の運用は加入者ご自身が行い、受け取る額は運用成績により変動します(元本を保証する運用商品もあります)。 ●原則60歳まで引出しできません。 ●口座管理手数料がかかります。

iDeCo  
について  
もっと知りたい!  
と思ったら

iDeCoの活用で、誰でも貯められる!増やせる!

## 最強の老後資産形成セミナー

≫ iDeCoの自分にとってのメリット・デメリット、具体的な節税効果が見える!  
≫ iDeCoの始め方と手順、金融機関の選び方が理解できる! \*各回約2時間程度。定員になり次第、締切ります。



参加  
無料!

〈会場〉

佐賀市駅前中央三丁目 15-7 ビズアカウンティングビル1F  
エ. ラベルファイナンシャル事務所 (小会議室)

〈日時〉

10月	22日・29日 (日)	10:30 ~ 13:30 ~
	24日 (火)	18:30 ~
	25日 (水)	18:30 ~
	28日 (土)	10:30 ~ 13:30 ~

お申込み方法

事前予約制ですのでお早目にご予約下さい

右のQRコードよりお申込みフォームにアクセスしてください。または、お電話・メールにて、**ご氏名・メールアドレス・連絡先・参加希望時間**をお知らせください。



☎ 0120-932-393

〈受付時間〉  
10:00~18:00 (平日)

✉ [m.seminar@a-label.co.jp](mailto:m.seminar@a-label.co.jp)

確定拠出年金FP相談所

企画運営会社  
株式会社 エラベル

詳しくは [イデコ](#) [佐賀](#) [検索](#)

〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目15-7 ビズアカウンティングビル2F TEL:0952-97-8982 FAX:0952-97-8983

※ご記入頂いた個人情報は、確定拠出年金FP相談所が行う業務以外には利用致しません。詳細は、エラベルのホームページを参照ください。

iDeCo  
がよくわかる  
動画はこちら!



# iDeCoの達人に聞く!

## ど素人さんのための

# iDeCo教室

「じぶん年金」や「最強の年金」と呼ばれ、近頃よく耳にするiDeCo(イデコ)。今回は、全国で講演会を開催している〈iDeCoの達人〉平野がみなさまからのよくあるご質問にお答えいたします!

確定拠出年金FP相談所  
ファイナンシャルプランナー  
平野 公直



## iDeCoが「じぶん年金」と呼ばれるワケとは?

— 最近話題になっている「iDeCo」とはなんですか?

iDeCoは「個人型確定拠出年金」のニックネームで、「イデコ」と読みます。確定拠出年金とは、「**節税しながら自分で作る自分の年金**」で、会社が導入する〈企業型〉と、個人が任意で加入する〈個人型〉があります。よく保険会社の個人年金保険と間違われますが、金融商品ではなく国の制度なので、とにかく「**税金が一番得する**」というのがメリットです。

さらに、60歳まで引き出し制限があるので、少しお金が貯まったから使ってしまう!などという誘惑に負けずにお金が貯められます。また、国の制度といいながら「自分年金」として「公的年金」とは区別されているので、**少子高齢化で年金が減ったり、受取が遅れるといった不安もありません。**

— 節税のメリットが非常に大きいと聞いたのですが?

はい、大きく3つあります。

### ① 掛金が全額所得控除

例えば年収300万円の人が個人年金保険に月1万円の積立をすると、年末調整での還付と翌年の住民税の節税が合計4,800円ですが、同じ金額をiDeCoですると1万8000円の節税ができます。

### ② 運用益が非課税

iDeCoではあらかじめセットされた複数の金融商品を自分で選び運用をしますが、例えばその中から定期預金を選ぶと、通常の預金と異なり20%の税金を引かれることがなくお金を増やすことができます。

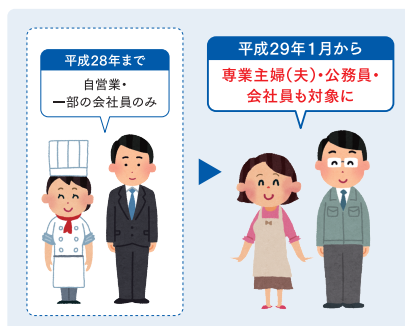
### ③ 受取時も優遇

積立金は60歳から70歳までの10年間で、好きな時に受取ができます(60歳までの加入期間が10年未満だと、最長で65歳まで受け取りが延長になります)。また受け取り方も、一時金・分割または一時金と分割の併用と3種類から好きな方法を選ぶことができ、その際も退職金扱い、公的年金扱いと、税金の特例を使うことができます。

— iDeCoはどんな人でも始められるのですか?

平成29年1月から、専業主婦(夫)の方、公務員、企業年金を実施している企業にお勤めの方など**基本的に公的年金制度に加入している20歳から60歳未満の全ての方**が加入できるようになりました。これまでは会社員の一部と自営業の方しか加入できなかったので、「みんなが加入できるようになった」ことで最近注目されています。結婚して会社員から専業主婦(夫)になったり、転職して自営業に変わったとしても、引き続き「iDeCo」の加入者となり続けることができ、掛金を支払い、資産を運用しやすくなったのです。

働き方や会社の福利厚生などによって月の掛金上限額が異なりますが、夫婦でiDeCoに加入することで、よりお得になります。



## デメリットも正しく知って自分に合った運用を

— iDeCoを始めるにあたって、気をつけるべきことはありますか?

iDeCoは老後資金作りとしては最強の仕組みですが、人生に必要なお金はそれだけではありません。教育資金や住居費、万が一の備えなどいろいろ**バランスを取りながら貯蓄計画をたてる必要**があります。そのため、「iDeCoが得なことは分かったけど、我が家の場合どうしたらいいの?」という相談が一番多いです。だからこそ、私たちファイナンシャルプランナー(FP)がお役に立てるのです。iDeCoは単体で考えず、ライフプランの一部としてFPと相談しながら上手に活用して欲しいです。



— とても魅力的ですが、何かデメリットはあるのでしょうか?

**毎月の掛金に上限があること、60歳までしか積立ができないこと**です。つまり、早く始めないとiDeCoのメリットが少なくなるという点です。細かいことですが、加入時の手数料(数千円)と毎月管理手数料(数百円)が必要になる点は注意が必要です。管理手数料は選択した金融機関によって異なりますので事前にしっかり確認する必要があります。

また、**運用商品の選び方で将来の受取額が変わる**ため、資産運用のお勉強が必要な点です。でも学びは人生に豊かさをもたらすものですから、前向きに取り組んでいただきたいですね。